

平成30年度予算見積調書

課室名：保健医療政策課

担当名：感染症・新型インフルエンザ対策担当

内線：3572

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B7	感染症重大事案対策事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費	
事業期間	平成30年度～平成35年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化		
					分野施策	020519 感染症対策の強化		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>グローバル化の進展や国際的イベントの開催に伴い、重大な感染症が発生し、感染拡大するリスクが高まっている。</p> <p>そこで、県民の健康を守り、感染拡大を防止するとともに、国際的イベントの円滑な開催を支援するため、重大な感染症を迅速に探知・解明できる体制を構築する。</p> <p>(1) 重大感染症早期探知体制の構築 3,250千円 (2) 新たな検査技術の導入 23,333千円 (3) 評価・分析技術の向上 745千円 (4) 診断技能向上研修とネットワークづくり 2,018千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 重大感染症早期探知体制の構築 3,250千円 医療機関が急激な症状が悪化した患者等を診断した場合、速やかに県に報告する。県はリスク評価を行い、状況に応じて原因調査や感染拡大防止の対策を行う。</p> <p>イ 新たな検査技術の導入 23,333千円 医療機関等で検査ができない健康危機事案について、現状衛生研究所では迅速に原因を判明することができないため、原因不明な重大事案を迅速に解明することができる次世代シーケンサーを衛生研究所に導入する。</p> <p>ウ 評価・分析技術の向上 745千円 検査結果をだすだけではなく、検査結果と患者の臨床データをあわせ、医療機関の診療において必要な価値あるデータを提供するため、解析結果評価委員会を設立し、検査結果の総合的な評価を行う。</p> <p>エ 診断技能向上研修とネットワークづくり 2,018千円 高い専門性を有する実務者、現場の感染症対策を牽引する指導者を育成する。地域の医療機関の感染症に対する意識を向上させる。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成30年度に熊谷を中心にベースラインの把握及びプレテストを実施する。(58日間) 平成31、32年度は、各年に開催される国際的イベントにあわせて、イベント期間中及び前後に全県で実施する。</p> <p>イ 衛生研究所に新たな検査技術を導入し、原因不明な事案を迅速に解明できる体制を構築する。</p> <p>ウ 検査結果を評価分析する技術を身に付け、医療機関に必要な価値あるデータを提供できる体制を構築する。</p> <p>エ 感染症を専門とする医療従事者と行政職員に対する研修会及び地域の医療機関に対する研修会を実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 感染拡大前に対応することでき、感染リスクの脅威を軽減し、国際的イベントの円滑な開催の支援ができる。</p> <p>イ 原因不明な事案を迅速に解明することでき、県民の健康を守り、県民の不安を解消することができる。 【導入効果】検査時間が約85%の大幅短縮、原因判明率が約2倍となる。</p> <p>ウ 解析結果より医療機関の診断能力が向上され、感染症の早期発見・まん延防止を図ることができる。</p> <p>エ 重大な感染症を早期に発見し感染防止策を講じることで、二次感染及び患者の重症化を防止できる。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (国1/2 県1/2)、(県10/10) (2) (国1/2 県1/2)、(県10/10) (3) (国1/2 県1/2) (4) (国1/2 県1/2)</p>								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×2.0人=19,000千円								
			財 源 内 訳					
予算額		国庫支出金	諸収入				一般財源	前年との対比
決定額	29,346	5,572	1				23,773	29,346
前年額	0						0	